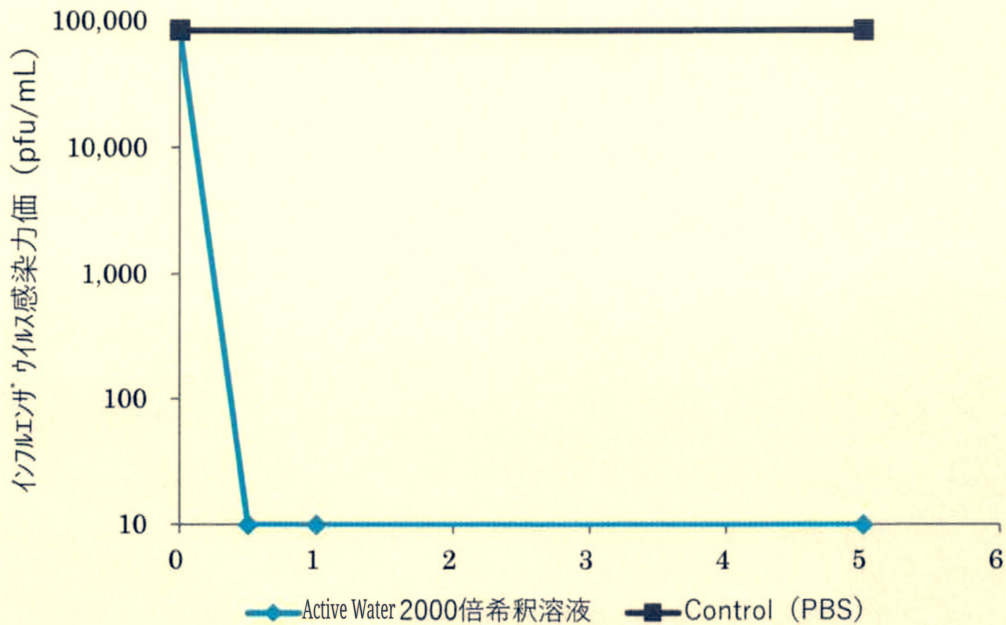


I-8. 試験結果

[インフルエンザウイルス不活化活性]

Active Water 2000倍希釈液の抗インフルエンザウイルス不活化効果



試験対照	処理時間			
	処理前	直後	1分	5分
(PBS)				
Run1	77000	-	-	80500
Run2	91000	-	-	89000
平均	84000	-	-	84750
減少率(%)	-	-	-	-0.893%

試験品	処理時間			
	処理前	直後	1分	5分
2000倍希釈溶液				
Run1	77000	<10	<10	<10
Run2	91000	<10	<10	<10
平均	84000	<10	<10	<10
減少率(%)		>99.988%	>99.988%	>99.988%

<10 : 検出せず

I-9. 考察及び結論

Active Water 2,000倍希釈溶液のインフルエンザウイルスに対する不活化効果を評価した。インフルエンザウイルスには H1N1 血清型の A/PR/8/34 株を用いた。Active Water 2000倍希釈溶液は作用直後から 99.988%以上のウイルス不活化効果が確認された。

以上